

【別紙】

小麦の生育状況と当面の技術対策について (3/30)

農業普及技術課革新支援担当

1 小麦の生育状況と今後の予測

- (1) 本年は、3月の平均気温が平年より約4℃高く推移したことから、現在、県内の小麦は全域で幼穂形成期に達しており、平年に比較して概ね10日程度生育が早まっています(表1、写真1)。
- (2) 平年の気温に基づく減数分裂期及び出穂期の予測日は、平年より5日程度早まると見込まれますが、当面は気温が高めで推移することが予報※されていることから、さらに早まる可能性があります。

※ 気象庁3月30日発表 東北地方 1か月予報 (4/1~4/30)

表1 小麦の生育ステージ (岩手県農業研究センター作況調査:北上)

品種	は種年次	幼穂形成期 (月/日)	減数分裂期 (月/日)	出穂期 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)
ゆきちから	4年	3/27	【4/27】	【5/7】	(5/15)	(6/25)
	平年	4/8	5/3	5/12	5/20	6/30
	差	-12	[-6]	[-5]	[-5]	[-5]

※ 4年の【】は、日平均積算気温の平年値による予測日 (H22,23 古川農試研究成果)。

()は平年の生育ステージの推移に基づく予測日 (開花期は出穂期+8日、成熟期は同+49日)

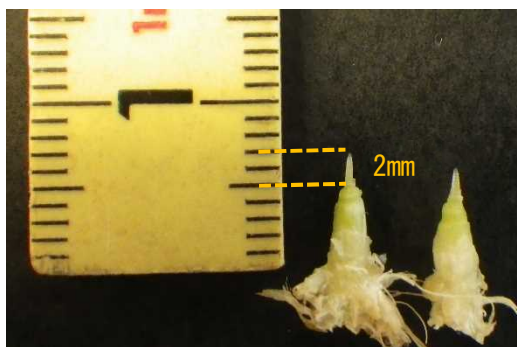


写真1 小麦の生育と幼穂の状況(3/29撮影) ※農業研究センター 10/12播種「ゆきちから」

2 当面の技術対策

(1) 雑草防除

3月の気温が高く経過したことから、雑草の発生も早まっています。

適期を逃さず茎葉処理除草剤の散布を行ってください。なお、使用時期が小麦の生育状況によって限定される除草剤もありますので、ラベルを確認のうえ使用してください。

節間 伸長前	幼穂形成期		穂ばらみ期	収穫 45日前
	節間伸長 開始期			
茎 葉 処 理 剤	エコパートフロアブル			
	MCPソーダ塩			
	ハーモニー75DFまたはハーモニーDF			
	アクチノールB乳剤			
バサグラン液剤(ナトリウム塩)				

図1 小麦の生育状況と除草剤の使用時期

(2) 追肥や赤かび病防除の準備

4月から5月にかけて、減数分裂期以降の後期追肥や赤かび病防除など、収量や品質の確保に重要な作業が続きます。

今後、平年より減数分裂期や出穂・開花期が早まり、各種作業が前倒しとなることを想定し、早めに肥料や農薬の準備を進めてください。